

学級活動の授業分析

— 問題解決の観点から —

An Analysis of “Classroom Activity”: From the Viewpoint of Problem Solving Process

田代裕一

Yuichi TASHIRO

要 旨

本稿は、実際の学級活動においてどのように問題解決が実現されているのか、その内実を明らかにし、実践上の要点を示すことを目的とするものである。そのために、A県Y小学校6年生クラスでのN先生指導の学級活動「第14回一番星学級会～1年生といっしょに遊びたい」を取り上げ、「発言表」を用いて授業分析を行った。この実践では1年生と6年生の楽しい交流活動を実現していくための問題解決が行われていた。実践上の要点として、議論すべき事柄が明確に決められていたこと、学級活動の係がその役割をしっかりと果たしていたこと、子どもたちが自由に発言できていたこと、さらに、他者への理解、想像力が強く働いていたこと、などが示された。

1. 研究の目的

学級活動の目標は現行の学習指導要領（2008年）において、以下のように記されている。「学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる¹⁾。」（下線部は筆者による）

このように学級活動は目標の一つとして問題を解決しようとする態度の育成をあげている。その際、特に学級や学校での生活に関する問題を対象として、現実的に問題を解決することを

重視している²⁾。そこで多様な問題解決学習のあり方の探究の一環として、今回、学級活動を取り上げて具体的な実践においてどのように問題解決が実現されているのか、その内実を明らかにし、実践上の要点を示したいと考えた。

2. 研究の対象

研究の対象は、A県Y小学校6年生クラスでのN先生指導の学級活動「第14回一番星学級会～1年生といっしょに遊びたい」2014年11月18日実施である。本実践の資料は、「社会科の初志をつらぬく会」³⁾の2017年度全国集会（2017年8月6・7日）で、提案、配布された実践記録に記載されている。その資料をもとに、筆者が一行24文字の記録に再構成している。この事例を選んだ理由は、学級の問題解決（願いの実現）に向けての「話し合い」を中心とした授業であることによる。また、社会科の初志をつらぬく会の理念（問題解決学習を通して民主主義社会を支える人間を形成する）を反映させようとした実践だと思われることによる。なお、筆者はこの集会に参加し、本実践の協議の中で実践者の意図や思いを詳しく聞く機会を得ている。

3. 研究の方法

今回、学級活動の授業を分析する手立てとして、「発言表」⁴⁾による様相—解釈的な方法を用いる。授業実践の様相—解釈的研究とは、授業の構造的全体像を作成して、その全体像を分析検討の際、共通の判断基盤にして、授業の特徴・問題性を解釈し指摘するという、授業研究の方法である。この発言表を社会科、生活科の授業分析に多く用いてきたが、元々、議論（活発なコミュニケーション）を中心とした授業を対象とする方法であるので、学級活動における話し合いの分析にも十分、適用できると考えられる。

ここで発言表の作成の手順について簡単に述べておく。発言表は基本的に、発言者名欄及び、発言状況欄からなる。発言状況欄には、授業記録上の全発言の長さを、縦の実線として記入する。本研究では授業記録での一行…24字程度を罫線の実線の一単位分にしてしている。さらに、授業において用いられた主要な言葉（テーマに関わる概念やイメージをよく示している言葉）を選び、記号化して載せている。表中の発言で重要なものや、注目すべきものは点線で囲み、また、発言と発言の関係は線や矢印（…は言及的な発言、→は反論、←→は質問—応答や、議論といった双方向的なやり取り、など）で表した。右の発言内容の欄には、その授業での内容展開や言語的応答関係を示す上で、重要と思われる言葉をそのまま抽出して記載している（14文字分）。発言表の原版はB4判サイズだが、紙面の都合上、縮小している。今回、作成した発

言表は本文の最後に掲載したので参照されたい。

4. 授業の分析

○実践者の学級経営の方針…（この箇所は筆者が「考える子ども」380号での実践者の記述を要約した。88～89頁、92頁）

- 学級や学習の主体は子どもたちにあると考える。常に子どもたちから学ぶ謙虚さをもち、『よりよく生きる』存在である子どもたちの成長と発達を支えるために、一人ひとりの一番星（よさ）を見付け輝かせたい。
- 自己肯定感を高める。子どもたちが自他の異質性に気付き、抱きしめ合う学びを通して個の自己肯定感を高めてほしい。

○本授業のテーマ「1年生といっしょに遊びたい」

○授業の構成（以下の分節分け、および分析は筆者による。）

- 第1分節（HR 1～HR13）

HR（学級活動の担当の係と思われる）が本時の話し合いの課題、めあて、進め方を確認している。

- 第2分節（HY14～C25）

本日の司会であるHYが最初に話し合う柱1（1年生と遊ぶ会をするかしないか）を提示する。子どもたちから、するという意見が次々に出され、することに決まる。

- 第3分節（HY26～HY34）

柱2（1年生と何をして遊ぶのか）について話し合っている。4名の意見が出た後、近くの者どうして話し合っている。

- 第4分節（HY35～HY69）

遊ぶ内容について、SO、YIが提案している。SOは3種類、YIは2種類の活動やゲームを出している。その後、1分間自由に話し合っている。

- 第5分節（HR70～HR93）

KA、YI、SO、THが遊ぶ内容について提案している。内容は一つにするか二つにするか確認され、二つ選ぶことになる。さらに、雨の日用と晴れの日用にわけて選ぶことになる。多数決で内容が選ばれ、さらにその際の係決めについて小グループで話し合っている。

- 第6分節（HR94～C110）

柱3（係は何をするのか）について話し合い、その種類や分担について決めている。

・第7分節 (HY111～C121)

今日の話し合いで決まったことを記録係が発表している。最後に、教師が本時の話し合を評価し、1年生と仲良くなつてほしいとの要望を出して、終了している。

○授業の発言状況…コミュニケーションの過程

授業全体で、教師の発言は12回、子どもたちの発言は109回であり、教師と子どもの発言回数比は1対9.08である。学級会ということもあり、子どもの発言が圧倒的に多い。子どもの発言者は16名で、35名のクラスとしてはあまり多くはない。発言は、学級会委員であるHRが26回、司会のHYが14回と多い。その他、SO17回、YI10回、DS5回である。なお、分節の最初の発言はすべて子ども(委員のHRまたはHY)である。

第1分節では、HR(委員)が6回発言して、本時の学級会の課題や担当者の役割について述べている。HR2の発言は4単位の長いもので、今回の議題を丁寧に説明している。その他、提案者のTHが2単位、板書係のKOが3単位の発言をしている。教師もT11で1単位の発言をして、子どもたちに励ましの言葉をかけている。

第2分節では、HY(司会)14の発言の後、SOが意見を出し、その後、YI、RM、AO、MN、REらが次々に意見を出してSOに賛成している。

第3分節では、SO、YI、AOが提案を出している。YI31は4単位の長い発言をして、提案理由を詳しく述べている。

第4分節では、SOが11回発言して、様々な提案をしている。特にSO36は6単位の長いものである。DS39は司会へ質問し、HR40が答えている。その他に、YI44やTH55・57も提案を出している。教師はここで8回発言してSOに対応している。

第5分節では、HR70の発言の後、KA71、MN73から新しい提案が出ている。その後、DS78は前分節でのTH55・57の提案に言及する発言をしている。YI79、SO80からも提案がある。ここではYIが79・82・84・90と断続的に多く発言している。その他に、DS78へのTH81の回答がある。DS83はYI82・84と質問-応答をしている。

第6分節ではHR94の発言の後、SO95やDS96が発言している。さらにHRが子どもたちを次々に指名して、TK98、AI100、SY102から各1単位の発言が出ている。その後、DS96に関連する発言がYI103・105やKA104から出ている。DS106は新たな提案をしている。

第7分節では、HR114の指示で、HA115が4単位の比較的長い発言をして、まとめを述べている。その後、教師がT119で7単位の発言をして、本時の話し合いの評価をしている。

以上のように、本授業は子どもたち自身で基本的に話し合いを進めていた。教師は始めと終わりの言葉を述べる他には、第4分節で特定の子(SO)に対応するぐらいで、あまり出ていなかった。あとは話の聞き方を注意していた。分析の最初の発言は司会のHYと委員のHR

のいずれかであり、この二人が分担しながら、子どもたちの発言の促進や確認、指名などを丁寧に行っていたことがわかる。SO、YIは第3、第4、第5分節で多くの発言をして様々な提案をしていた。DSは第4、第5、第6分節で出て、司会やYIに質問したり、自分の意見を述べたりしていた。THも提案や質問に対する回答を行っていた。

○言葉の展開状況…学習内容の展開状況

本授業は子どもに運営を任せた学級会ということもあり、教師は第4分節でのルール、1年生以外、あまり主要な言葉を用いていない。また、教師が子どもよりも先に用いているのはルールだけである。

第1分節では、HR2が係を用いて今回の学級会での各係を紹介している。TH4は1年生とお礼を用いて、1年生が遊んでくれたのでそのお礼で何かできないかと思ったから、と倫理（お返し…礼儀）の観点から提案理由を述べている。KO8も係を用いている。これは遊ぶ時の係を決めるという、本時の話し合いの柱（の一つ）の確認である。

第2分節では、SO17が1年生とかわいそうを用いて、心情の観点から1年生と遊ぼうと提案している。RM20もかわいそう、RE23も1年生とかわいそうを用いるなどSOに同じ観点から賛成している。MN22はお礼を用いて、遊んでもらってこちらがやらないのは失礼と、倫理的な点から意見を述べている。これはTH4に近い考えである。

第3分節では、SO29がケイドロを出して具体的な遊びの提案をしている。YI31はケイドロ、1年生、6年生を用いて、（1年と6年には体力差があり）ケイドロでは調整することが必要として、かくれんぼを提案している。これは、実際の活動状況をイメージした発言である。その他に、AO33も1年生を用いて、相手を意識した発言をしている。

第4分節では、SOが多くの発言の中でゲームを5回、アイテムを3回用いて、3種類のゲームを次々、提案している。SO36ではゲーム、1年生、アイテムを用いて、提案したゲームの具体的内容、1年生の役割、用いるアイテムの説明をしている。それに対して教師がT37でルール、1年生を用いて、ルールは簡単なほうが1年生はいい、と、少し牽制している。HR40はDS39の質問（いつどこでするのか）に対して、体育館と教室を用いて、どちらかでと答えている。その後、YI44が6年生、1年生、ケイドロを用いて、6年生が1年生を助けたりできるのでケイドロとは違う、と6年生と1年生の活動を示しながら、新しい提案（逃走中）を出している。一方、SO46はゲームを用いて、先生追いかけるゲームを新たに提案している。その後TH55は雨用の時、教室、TH57ではゴロゴロドッカンを用いて、雨の時に教室でできる活動を提案している。SO58はここでもゲームを用いて、さらにコンバットゲームを提案している。SO60はアイテムを出して、その時用いる道具を紹介している。終わりの方で、YI67は体育館を用いて、体育館で戦闘中という遊びをしたいと発言している。このように様々な活動やゲーム

が提案されている。

第5分節では、KA71が巨人さんが転んだを用いて、新しい活動を提案している。C72も巨人さんが転んだを用いて、反応している。DS78はゴロゴロドッカン、1年生を用いて、ゴロゴロドッカンをする時に1先生にどう対応するか述べている。YI79はゲームを用いて、新しいゲームを提案している。SO80もゲーム、アイテムを用いて、新しいゲームを提案している（SOの提案はこれで5つ目である）。TH81はゴロゴロドッカン、1年生、6年生を用いて、HR78の発言に関連して、ゴロゴロドッカンをする時の1年生と6年生の関係について説明している。YI82はバスケットを用いて、新しい活動を提案している（YIの提案も5つ目である）。さらにDS83の質問（椅子の準備はどうするのか）に対して、YI84は6年生、1年生、教室を用いて、教室でするときは6年生が1年生をひざにのせる、と6年生と1年生の関係について述べている。さらに司会の問いかけに対して、YI90は、雨用の時を用いて、雨の時もあるので二つがよいと、意見を出している。HR93は晴れの日、雨用の時を用いて、晴れの日、雨の日のそれぞれについて二つ選ぶように指示している。

第6分節では、係決めの話し合いの後、SO95が説明する、係、ルールを用いて、ルールを説明する係がいい（やりたい）と発言している。このルールは第4分節で教師がT37でSOに対応した時に用いた言葉であり、それをSOが聞いていて取り入れていると解釈することができる。またSOは説明するも初めて用いているが、これも1年生への丁寧な対応として貴重だと思われる。DS96は巨人さんが転んだ、しょうがい物、係を用いて、巨人さんが転んだをするならしょうがい物を作る係がいると、具体的な提案をしている。これに関連してYIは103でしょうがい物、105でしょうがい物、係を用いて、しょうがい物の設置や、その材料を集めることを述べている。KA104は巨人さんが転んだ、しょうがい物、係を用いて、しょうがい物として段ボールや、絵を描く人が必要なことを述べている。その後、DS106は1年生、教室、招待状を出して、1年生の教室に突然（遊びに誘いに）いっても困るので、招待状で伝えると新たな提案をしている。このように本分節では、1年生への配慮や具体的な作業の提案を踏まえた、問題解決が進展している。

第7分節では、HA（記録係）105が晴れの日、ゴロゴロドッカン、巨人さんが転んだ、雨用の時、何でもバスケット、説明する、係、しょうがい物、招待状と、今まで出た多くの言葉を用いて、本日の話し合いで出た重要な内容を丁寧に述べている。

このように本授業では前半、活動したい内容について次々に提案があり、やや焦点化されにくい点があったが、その中でも1年生と6先生の関わりや環境（教室・体育館）、条件（雨の日、晴れの日）といった観点から検討が深められていた。終わりの方ではそのための係としてルールの説明係や、準備、招待状の用意など細かい配慮がなされて決定されていた。特に、ゲー

ムの提案に夢中になっていた SO がルールの説明の係が必要だと発言したことは重要である。

5. まとめ…問題解決の観点から

本学級活動では委員や司会が話し合いを主導しており、教師は始めの言葉、終わりの言葉の他は、SO に対応すること以外に、ほとんど発言していなかった。子どもたちの授業での自由度も高く、SO のように何回も似たようなこと（活動を次々に提案する）を出しても、許容されていた。話し合いは次第に1年生と遊ぶ活動が提案され、雨の日などの条件も検討の上、決定されていた。最後の方では SO もルールを説明する係が必要だと発言し、また、DS が招待状の提案をするなど、1年生との交流がうまくいたための配慮ある意見が次々に出ていた。さらに、当日の係をあげて自ら引き受けるなど、子どもたちの交流活動への意欲の高まりもうかがえた。このように1年生と6年生の楽しい交流活動を実現していくための問題解決ができていたといえよう。この問題解決活動では、議論すべき事柄（柱）が明確に決められていたこと、学級活動の係がその役割をしっかりと果たしていたこと、子どもたちが自由に発言できていたこと、等が重要なポイントであったといえる。しかしその他に、1年生のことを細かく配慮したり、活動の際の子どもたちの動きを想定したりと、他者への理解、想像が強く働いていたことがわかる。子どもたちの他者理解、想像力の発揮に、自他の違い（異質性）を肯定的に受け止めることを重視している、この実践者の日ごろの学級経営（4. 授業の分析、の冒頭の箇所）で触れている）が強く影響していると思われる。

【注】

- 1) 小学校学習指導要領 第5章 特別活動 文部科学省

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/syo/toku.htm

検索日 2017年11月12日

- 2) 次期（2020年度）学習指導要領にも下記のような記述があり、やはり学級や学校の生活上の問題解決を重視していることがわかる。

「学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。」（下線は筆者による）

小学校学習指導要領 第6章 特別活動 文部科学省

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/

検索日 2017年11月25日

- 3) 「社会科の初志をつらぬく会」は民主主義社会を支える人間の形成を目指し、問題解決学習を特に重視している。筆者は1981年から本会の会員である。
- 4) 「発言表」の原理については下記の論文を参照されたい。中村亨「発言表を使用する授業分析——授業における子どもの相互関係にふれて——」『教育方法学研究』第12巻 1987年。田代は中村が創始した「発言表」の応用・開発に取り組んできた。発言表に関する比較的最近の論文としては、田代裕一「授業実践の様相——解釈的研究——グループ活動を含む授業事例の分析——」教育方法学研究第35巻 2010年、田代裕一「授業分析によるカリキュラム評価の試み——授業実践の様相——解釈的研究——」西南学院大学人間科学論集第13巻第1号 2017年、などがある。

西南学院大学人間科学部児童教育学科

学級活動の授業分析

A県 Y小学校 6年生 N先生指導 学級活動 ① 2014年11月18日																	
「1年生といっしょに遊びたい」																	
授業における発言内容の一部																	
教師 委員・司会 他の子ども																	
分 各分節での主要な言葉																	
教師 委員・司会 他の子ども																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
T	H	H	T	K	S	Y	R	A	M	R	D	K	T	A	S	H	C
R	Y	H	O	O	I	M	O	N	E	S	A	K	I	Y	A	C	
委員・司会 発表者																	
記録																	
一番開学費を払います																	
始めよう																	
話し合いの体を紹介します																	
今日の話し合いの課題は																	
「1年生と一緒に遊んでくれた																	
わたしたちも一緒に遊ぶか」																	
提案理由 進んでくれる会																	
お礼として何かできないかな																	
提案に賛同はありませんか																	
話し合いのあてを確認します																	
聞く態度に気をつけよう																	
話し合いの進め方を確認します																	
柱1のするべきしないかを																	
柱2の何をするかを																	
柱3の何をするかを																	
はい																	
先生の話を聞きます																	
がんばって下さい																	
がんばります																	
話し合いを始めます 司会の																	
まずはするべきかしないか決めます																	
はい、はい																	
SO君																	
します 1年生がかわいそう																	
他にありませんか																	
君と同じでしょういいと																	
ばくもそう思います																	
この前、トランプをやって																	
こっちもやってもらったから																	
やってもらってやらないと																	
あまりにも失礼なので																	
1年生がかわいそうだから																	
するのですか																	
はい																	
柱2に移ります																	
はい																	
何をします SOさん																	
ケイドロがいいと思います																	
バージョンアップという意味																	
他にありませんか YI君																	
かくれんぼがいいと思います																	
鬼ごっこ ケイドロ 走る系																	
6年生は調整しないといけない																	
調整しないでやりやすい																	
他にありませんか AOさん																	
1年生のやりたい遊びがいい																	
近くの人と話し合ってください																	
(近くの者と話し合っている)																	
やめて下さい 発表して下さい																	
新しい遊びを考えました																	
危険なお皿から逃げるゲーム																	
1年生はピラニアで 電球ワニ																	
6年生はサーチライトのサメだ																	
先生はメガロドン																	
アイテム 釣り竿																	
ルールは簡単なほうが 1年生																	
うん確かに 最強アイテム																	
釣り竿 シビレルも																	
司会に賛同 いくつかです																	
体育館が教室はどうですか																	
えー																	
体育館でするのはいいですね																	
SO君																	
逃走がいいと思います																	
6年生は1年生 助ける																	
ケイドロとはちょっと違って																	
他にありませんか																	
先生をおいかけろゲーム																	
それ去年も言ってたよね																	
怒られるよ、そこ走ってたら																	
なら簡易版で																	
はいはい																	
いやゆっくりやると																	
説明していいよ																	
考えておくよ																	
おー																	
前回の時に教室で できる遊び																	
はい																	
ゴロゴロドッカンって言います																	
決めました																	
コンバト競争ゲーム																	
こわいよ 非現実的だ																	
いや本物の武器じゃなくて																	
最強の武器は原子爆弾 紙																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

A 県 Y 小学校 6 年生 N 先生指導 学級活動 ② 2014 年 11 月 18 日																		各分節での主要な言葉	
授業における発言内容の一部																		教師 委員・司会 他の子ども	
委員 司会 観察 顧問																		教師 委員・司会 他の子ども	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18																		4	(前表に記載)
I H H T K S Y R A M R D K T A S H C R Y H O O I M O N E S A K I Y A																			
I 僕は分かりません I みんな聞いて下さい I じゃ意見としてね 司会進めて Y1 君 I 新聞紙をたくさん丸め 体育館で戦闘中をしたい I 他に 1 分間話し合ってください																			
(1 分間話し合っている)																			
1 70																		5	①①① ◆◆◆ ☆☆☆ ⑥⑥⑥ #Ψ全↑
I 話し合いをやめて下さい I 巨人さんが転んだ え、何それ 知ってる (説明の絵を指す) I 今聞くときですよ 主役は誰 (巨人さんが転んだの説明) I 他にありませんか I コロコロドッカンをするときはモアイ像崩壊ゲームがいいと先生は崩壊ゲームです I ゴジラとガメラとレオオンとか鬼じゃない人は悪徳兵器を DS 君の質問に答えて I 回りを 1 年生・6 年生 交互に何でもバスケットがいいとみんな着ているものとか特徴で椅子の準備はどうするんですか I 6 年生のひざの上に 1 年生をこの中から決めていいですか I はい I どれか一つ あ何回やりますか I 一つ 一つ 一つ I 一つがいいと思います I 一つ 雨の日のもいっぱい出で I 一つでいいですか I はい I 一人 2 回手をあげてください I 晴れの日と雨の日で																			
(係決めへ 意見なく小グループでの話し合い)																			
I 話しをやめて下さい 手をあげて説明する係がいいと思います I しょうがい物を作る係がいる I TK 君はどう思いますか I 考え中です I AI さんはどうですか I SO 君と一緒に I SY 君はどうですか I 他にやりたい人がやったらいい I しょうがい物を配する人だから I 巨人さんが転んだは競争ゲーム I 作ったり絵を描いたりする人 I みんなでしょうがい物の材料を集めて 手伝ったり 早く準備 I 1 年生の教室に突然行って困ってしまうかも知れない I 招待状みたいなを書いてどこで I TK 君は考えが出ましたか I はい 考え中です I どれをやるか決めていいですか I はい																			
I 110																			
(係を決める)																		7	① Ω ☆ ◆ ↑ Ψ ε κ Ⅲ Ⅰ
I これでもいいですか I はい I 今日の話し合いはこれで終わり I 決まったことを書記の H A さん I 注 1 するに決まって I 注 2 晴れの日と 雨の日は I 注 3 説明する しょうがい物 I つくる たてる 招待状 係 I 話し合いの反省 ノートに I 書いて下さいね I 先生の話です I 時間内に終わらそうとしたり I すごくいい言葉が出てたしね I 司会がなによりスパンとする I みんなが協力しました I 是非今後もこういう話し合いを I 1 年生と仲良くなって下さい I 1 年生に笑顔プレゼントして I これで 学級会を終わります I 終わりますよう																			
I 120																			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18																			

A 県 Y 小学校 6 年生 N 先生指導 学級活動 ③ 2014年11月18日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	授業における発言内容の一部	各分節での主要な言葉	
T	H	H	T	K	S	Y	R	A	M	R	D	K	T	A	S	H	C	教師	員	他の子ども
後	同	合	報	報																

* 本授業で出た主要な言葉とその記号

- K ……係
- ① ……1年生
- T ……お礼・失礼
- ♥ ……かわいそう
- Φ ……ケイドロ
- ⑥ ……6年生
- G ……ゲーム
- # ……アイテム・武器・兵器
- Я ……ルール
- Ω ……体育館
- △ ……教室
- ↑ ……雨用の時・雨の日
- ☆ ……ゴロゴロドッカン
- ◆ ……巨人さんが転んだ
- Ψ ……何でもバスケット
- ☼ ……晴れの日
- ㊦ ……説明する
- Ⅲ ……しょうがい物
- Ⅱ ……招待状